

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくりプロジェクト	実施期間	平成23年度～平成29年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	ライフスタイルの多様化や洋装化等による着物離れの影響を受け、当町の主要産品である丹後ちりめんの生産量は、最盛期の昭和48年に比べ約89%の減となっており、主要産業である織物業の衰退が顕著に現れ、長引く不況もあいまって地域経済も疲弊している現状である。 そのような時勢の中で、長い歴史により培われた織物技術を活かし、和装だけに捉われない新たな商品の開発や、日本の伝統文化の一つである着物の素晴らしさを全国にPRする活動等により織物業の活性化を図るとともに、当町のもう一つの主要産業である農林業、そして豊かな自然を活かした観光や商工業の分野でも振興を図ることで、長引く不況下で疲弊する地域経済の活性化が求められているところである。						
プロジェクトの目的及び概要	これまで培われた農林業、商工業、織物業、観光の基盤をもとに、「伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり」を目指し、各産業の振興を図るとともに、各産業が連携して新たな活路を見出し、活力が循環するまちづくりを進める。						
	総事業費（千円）	322,193	本年度事業費（千円）	35,225	交付金額（千円）	17,000	
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	健康増進施設整備事業	交付対象事業	健康増進施設の施設整備		クアハウス岩滝のポンプ、外壁整備。		
	道の駅 シルクのまち かや運営事業	交付対象事業	道の駅施設整備		道の駅 シルクのまち かやトイレ整備。		
	フォレストパーク運営事業	交付対象事業	観光施設の整備。		野田川森林公園の整備。		
	観光地域づくり組織支援事業	交付対象事業	観光協会による観光づくり		観光協会への補助。		
	与謝野ブランド戦略事業	交付対象事業	与謝野ブランド戦略に係るアドバイザー業務。		与謝野ブランド戦略に係るアドバイス、提案「みえるまち」というコンセプトが提案される。		
	岩滝母と子どものセンター施設整備事業	交付対象事業	産業創出交流センター（旧岩滝母と子どものセンター）改修		産業創出交流センターの入り口にスロープ設置工事。		
	中小企業振興事業	交付対象事業	中小企業振興による地域経済の活性化。		創業支援、商業活性化支援、人材育成、新商品開発、販路開拓、雇用促進奨励等 48件		
	織物振興事業	交付対象事業	織物振興対策事業。		着付け教室、織物織機調整支援事業補助金。		
	与謝野農業モデル確立事業	関連事業	SOFIXによる京の豆っこ米を活用した農業の推進。		科学的な根拠に基づいた農業の推進。		
	海の京都広域連携・地域づくり事業	関連事業	5市2町が連携して観光振興に取り組む。		観光・交流・集客等に関する事業を一元的・総合的に実施・推進。		
住民 協働 事業	有害鳥獣捕獲事業	交付対象事業	有害鳥獣の捕獲・処理。		処理：大型獣1,204頭、小型鳥獣224頭。		
	水稲生産調整業務助成事業	交付対象事業	水稲生産調整に対する支援。		水稲生産調整に係る助成2件。		
	自然循環型農業推進事業	交付対象事業	有機肥料による自然循環型農業の推進。		京の豆っこ米の都市部量販店での店頭試食販売など。		
	丹後ファッションウィーク開催事業	関連事業	丹後ちりめんの認知度向上を目指し事業展開を行う。		学生を丹後に招き、織物産地の見学などによる産地交流、丹後の生地を使用した作品制作事業の実施。		
住民が 取り組む 事業							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：与謝野町

成果指標①	成果指標の目標数値	農業の担い手の確保・育成 (H23: 44人⇒H29: 50人)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	H28年度43人	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	高齢化による担い手の自然減少はあるが、ほぼ現状を維持という結果になっている。減少に歯止めをかけるため、関係機関が協力して、担い手に対して多様な育成支援を行うとともに、新規担い手を育成するため、新規就農者フォローアップの取り組みを強化する。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-	(時期)	-
成果指標②	成果指標の目標数値	有害鳥獣による農作物被害軽減 (H23: 15ha/年⇒H29: 7.5ha/年)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	H28: 4.5ha/年	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	侵入フェンスの設置により、有害鳥獣被害面積が減少し、目標数値を達成している。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-	(時期)	-
成果指標③	成果指標の目標数値	観光客の増 (H23: 662千人⇒H29: 800千人)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	H28年度668千人/年	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	昨年度は「海の京都博」といった大きなPRイベントがなかったため観光入込客の減少となった。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-	(時期)	-
成果指標④	成果指標の目標数値	観光消費額の増加 (H23: 5億2,208万円⇒H29: 8億円)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	H28年度6.3億円/年	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	昨年度は「海の京都博」といった大きなPRイベントがなかったため観光入込客の減少に伴い、観光消費額も減少した。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-	(時期)	-

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：与謝野町

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>観光分野においては、一定の効果はあったと考えられるが、「海の京都博」といった大きなPRイベントがなかったため、観光入込客数、観光消費額は前年度を下回っている。</p> <p>産業分野は、他の交付金とも併せ「与謝野ブランド戦略事業」を進めた結果、町の目指すコンセプト、今後の方針が見えつつあり、次年度以降の本格的な取り組みに期待がたまった。</p> <p>農業分野においては、自然循環型農業などの積極的な取組による与謝野町ブランド（「京の豆っこ米」）の知名度の上昇や、有害鳥獣防除施設設置事業による農作物被害軽減効果などにより、農業従事者のやりがいに繋がっている。今後、農業従事者の増加に繋がることを期待する。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>交付対象事業で産業基盤の整備を行い、関連事業で住民や民間事業者と協働して与謝野町のPR事業等を行い、都市部での与謝野町や製品の認知度を高めている。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>産業分野は住民生活にも大きく関わる分野であるため、住民自ら積極的に取り組む事業も多く、意識は高い。そういった事業に対して町が様々な支援を行い、住民の取組を活性化している。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>有害鳥獣対策の分野や新たな無農薬栽培農法の研究等、特に農林業分野での新しい取り組みを行い、今ある問題の解決を積極的に行っている。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>産業分野は地産地消や循環型経済、自然循環型農業の推進など、地域全体に効果が還元できるような取組を目指している。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>観光施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。</p>
	<p>その他の成果</p>	